



ほこた市

議会だより

平成29年7月31日発行

No.48



旭南小 6月6日
銚田市メロンの日
学校給食

平成29年第2回(6月)定例会

議長就任あいさつ	P2
平成29年第2回定例会の概要	P3
提出議案と審議結果	P2~3
平成29年第2回定例会 主な質疑/主な討論	P4
各議員の賛否	P4
委員会の構成	P5
議員活動状況	P5
ここが聞きたい! 一般質問	P6~11
委員会活動報告	P12~13
請願審査	P14
決議・意見書	P15
議会の動静	P15
傍聴者の声 平成29年第3回(9月)定例会の予定	P16

議会映像配信のお知らせ



**生中継・録画中継で
本会議を傍聴できます**



銚田市議会

検索

- ・議会ホームページ内の「議会中継」をクリック。
- ・「ライブ中継」・「最新の録画を見る」を選択してご覧ください。※ライブ中継は本会議当日のみ
- ・パソコンやスマートフォンなどからでも視聴できますので、ぜひご覧ください。

第2回定例会で正副議長を新たに選任



議長
井川 茂樹



副議長
入江 晃

議長就任の挨拶

このたびの平成29年第2回定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、第9代議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、皆様のご厚情に衷心より感謝申し上げますとともに、その職責の重大さを改めて痛感しているところです。もとより微力ではございますが、円滑な議会運営に努め、より開かれた議会となるよう最善の努力を尽くす決意でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私たち議会議員の使命は、市民の声・地域の実情をきめ細かく把握し、市政に反映させることでもあります。そして議会は、二元代表制の一翼を担う意思決定機関でありますので、市長や執行部と常に緊張のある関係を保ちながら、市民の皆様の多様なニーズを市政に反映させるべく鋭意努力していく所存であります。

「いのちとくらしの先進都市」の実現に向け、誠心誠意、全力を傾注し、市民の皆様の期待と信頼にこたえていく所存ありますので、今後とも、皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

平成29年第2回定例会の主な日程

- 6月6日(火) 本会議
 - ・開会
 - ・行政報告並びに市長提出議案の説明
- 6月8日(木) 本会議
 - ・一般質問
 - ・一般質問
 - ・議案第1号の提案説明・質疑・討論・採決
- 6月9日(金) 本会議
 - ・一般質問
 - ・議案第2号・第3号の提案説明・質疑・討論・採決
- 6月12日(月) 総務企画常任委員会
- 6月13日(火) 厚生文教常任委員会
- 6月14日(水) 経済建設常任委員会
- 6月16日(金) 本会議
 - ・市長提出議案の質疑・討論・採決
 - ・請願審査に係る委員長報告・質疑・討論・採決
 - ・議案第2号・第3号の提案説明・質疑・討論・採決
 - ・議長辞職の件
 - ・議長選挙
 - ・副議長辞職の件
 - ・副議長選挙
 - ・常任委員会委員の改選
 - ・議会運営委員会委員の改選
 - ・閉会

平成29年第2回定例会の概要

第2回定例会は、6月6日から6月16日までの11日間の会期で行われました。議案は、市長から4条例の専決処分承認について、鉾田市立学校設置条例の一部改正案、平成29年度一般会計補正予算案などの計7件が提出されました。議員からは、日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターで発生した事故に対し、原因究明・再発防止対策などを求める要請書提出の議案や、PCBを処理する産業廃棄物処理施設進出に反対する決議及び意見書の提出についての議案が提出されました。請願は、若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願が提出されました。一般質問は、10人の議員から通告があり、産業振興施策について、子育て世代包括支援センターについてなどの質問を行いました。委員会では、総務企画常任委員会で請願審査を、経済建設常任委員会及び厚生文教常任委員会で所管事務調査を行いました。議会最終日には、正副議長の辞職に伴う正副議長の選挙が行われ、新しい正副議長が選任されました。また、任期満了に伴い各種委員会の委員が新たに選任されました。今定例会では、市長及び議員提出の全議案が可決され、請願は、継続審査となっていたPCB処理施設の進出に反対する請願は採択に、年金に関する請願は不採択となりました。

提出議案と審議結果

平成29年第2回鉾田市議会定例会

- 賛成多数
 - ▲ 賛成少数
 - △ 継続審査
 - 全員賛成
- 条例・規則の一部改正等
- 専決処分の承認について
鉾田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
 - 専決処分の承認について
鉾田市税条例の一部を改正する条例
 - 専決処分の承認について
鉾田市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
 - 専決処分の承認について
鉾田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 - 鉾田市立学校設置条例の一部改正について

平成29年度補正予算

- 平成29年度鉾田市一般会計補正予算(第1号) 4億4177万5千円の増額

その他

- 物品購入契約の締結について

請願

- 上山・鉾田工業団地への産廃施設(PCB処理施設)進出計画に反対する請願書
- ▲ 若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願

選挙(当選人)

- 議長選挙 井川 茂樹
- 副議長選挙 入江 晃

議員提出議案

- 要請書の提出について
※日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおける事故に対する要請書
- PCBを処理する産業廃棄物処理施設進出に反対する決議
- PCBを処理する産業廃棄物処理施設進出に反対する意見書の提出について

平成31年度
茨城国体開催PR



いぎいき茨城ゆめ国体
スポーツライミング開催

平成29年第2回定例会

〈本会議〉6月16日

議案第5号

鉾田市立学校設置条例の一部改正について

○提案趣旨
 本案は、現在進めている鉾田南中学校区統合小学校を建設するにあたり、所要の改正をするものです。

主な質疑

問 (高野 衛議員) この条例は、公布の日から施行とあるが、公布の日はいつか。また、開校はいつを予定しているのか伺います。あわせて、1クラスあたりの基準とする人数及び全体のクラス数と、開校までに歩道の整備が間に合うのかについても伺います。

答 (教育部長) 公布にしましては、議決をいただいたのち速やかに行う予定で、開校は31年4月を予定しております。また、1クラスあたりの児童数は40人、全体のクラス数は、現段階で23クラスの予定です。
 (建設部長) 歩道にしましては、開校に間に合うよう現在進めております。

主な討論

○反対討論

(高野 衛議員)

本案は、鉾田市立の小学校20校を最終的に4校にする極端な統合再編計画により、今回7校を1校に統合しようとするものであります。1クラス40人学級を基本とするなど、大人の学級編成による学力低下や、いじめ問題が懸念されています。また、スクールバスの利用料金も有料で、義務教育無償の原則にも反する内容です。統合は、住民合意のもと、既存の校舎を利用しながら、少人数学級を基本とした近隣の小学校との緩やかな計画にすべきと考えるため、本案には反対をいたします。

○賛成討論

(入江 晃議員)

本案は、鉾田市立小学校の再編計画に基づき、鉾田市立学校設置条例に鉾田南小学校を加えるもので、この校名は、応募のあったなかから小学校統合推進委員会で承認されたものです。
 今後開校までに、校歌や校章作成等の事業を進めるうえで、学校名を仮称ではなく正式に決定する必要があらることから、議会の議決を求められたものであると思います。以上のことから本案に賛成をいたします。

各議員の賛否が分かれた議案

会議名	議案名	議員名																採決結果					
		反対討論	賛成討論	井川倫士	渡辺拓哉	亀山彰	岸田一夫	二重作茂兵衛	郡司功	小沼勝	根寄眞	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	友部政徳		山口清一	田口清一	堀田正衛	高野衛	倉川陽好
第2回定例会	鉾田市立学校設置条例の一部改正について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	可決
	若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願	小沼	高野	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議	●	●	●	●	○	●	不採択

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 退：退席

第2回定例会で、任期満了に伴い新しい委員が選任されました。

委員会名	委員長	副委員長	委員			定数
総務企画常任委員会	亀山 彰	二重作 茂兵衛	渡辺 拓哉 友部 政徳	郡司 功 田口 清一	井川 茂樹	7
経済建設常任委員会	倉川 陽好	山口 徳	岸田 一夫 堀田 正衛	入江 晃	岩間 勝栄	6
厚生文教常任委員会	根寄 眞	高野 衛	井川 倫士 米川 宗司	小沼 勝	水上 美智子	7
議会運営委員会	二重作 茂兵衛	根寄 眞	亀山 彰 高野 衛	米川 宗司 倉川 陽好	山口 徳	7
議会広報編集委員会	渡辺 拓哉	小沼 勝	井川 倫士 入江 晃	岸田 一夫	郡司 功	6

※厚生文教常任委員会は1名欠員

議員活動状況

H29年4月1日～6月30日

期 日	議会・委員会	議員名																			
		1 井川倫士	2 渡辺拓哉	3 亀山彰	4 岸田一夫	5 二重作茂兵衛	6 郡司功	7 小沼勝	8 根寄眞	9 水上美智子	10 入江晃	11 岩間勝栄	12 井川茂樹	13 米川宗司	14 友部政徳	15 山口清一	16 田口清一	17 堀田正衛	18 高野衛	19 倉川陽好	20 欠
4月12日	総務企画常任委員会	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
4月21日	議会広報編集委員会	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4月25日	総務企画常任委員会行政視察	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	欠	
5月17～18日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会視察研修	○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
5月19日	総務企画常任委員会	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	
5月31日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-
6月6日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-
6月6日	平成29年第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月6日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月8日	平成29年第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月8日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月8日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会	○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
6月9日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会	○	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
6月9日	平成29年第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月9日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-
6月12日	総務企画常任委員会	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	
6月13日	厚生文教常任委員会	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
6月14日	経済建設常任委員会	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
6月16日	平成29年第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月16日	総務企画常任委員会	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
6月16日	経済建設常任委員会	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	
6月16日	厚生文教常任委員会	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	
6月16日	議会運営委員会	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	○	
6月16日	議会広報編集委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月26日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：出席 欠：欠席 紹：請願の紹介議員 -：当該委員会等に所属していない議員



ここが聞きたい!! 一般質問

平成29年第2回鉾田市議会定例会一般質問通告順

議員名	質問事項
倉川 陽好	1. 人事評価について 2. 老人福祉施設について 3. 特産品のブランドと商標登録について 4. 安全・安心の道路の取組みについて 5. 議会費について
岸田 一夫	1. (仮称)鉾田市民交流館について 2. 鉾田南中学校区統合小学校について 3. 鉾田市立幼稚園について 4. 教育環境の整備について
渡辺 拓哉	1. 鉾田市子育て世代包括支援センターHUGくむ(はぐくむ)について 2. ほっとパーク鉾田、ともえ荘、とつぷさんて大洋の現状 3. 地域通貨を仮想通貨に
二重作 茂兵衛	1. 準中型免許取得に対する助成金について 2. 道路整備の進捗状況について
水上 美智子	1. 市立図書館の充実について 2. 市のごみ袋について 3. ピロリ菌検査について 4. 高齢者が安心して暮らせる支援策について 5. 通学路交通安全プログラムについて
小沼 勝	1. 再生利用、経営体育成基盤整備について 2. 生産農家の販売戦略について

議員名	質問事項
亀山 彰	1. 産業振興施策について 2. 基金について
高野 衛	1. 東海第2原発延長問題について 2. 上山・鉾田工業団地への産廃施設(PCB)進出問題について 3. 公共交通による高齢化社会の対応について 4. 動物愛護普及啓発について 5. 県道の改修要望について
入江 晃	1. 子育て世代包括支援センター設置について 2. 災害時における避難所や病院等でのお湯等飲料の確保のための災害協定の推進について 3. 消費生活センターについて
井川 倫士	1. 子ども達の遊び場確保とママの居場所の確保について 2. 市の発注工事の適正化について

ホームページで一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①鉾田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、9月頃の予定です。
本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ 検索



鹿行地区の老人福祉施設について



倉川 陽好 議員

問 鹿行地域の福祉施設入所希望者について、現在はどのような状況でしょうか。また、施設数はあるが介護従事者不足のために、入所者が定員割れの状況との報道もありませんが、鹿行地域の状況をお尋ねします。また、地域の施設を利用した介護軽度の高齢者が楽しめる仕組みを進めるための考えをお聞かせください。

答 【健康福祉部長】鹿行地域の福祉施設「特別養護老人ホーム」の入所希望者の状況は、鹿行5市の22施設1228床に対し、入所待機者が549名です。鉾田市の状況については、5施設270床に対し、待機者が104名となっております。要介護3以上の在宅者は71名で、うち、早急な入所を希望している方は28名となります。これらの入所を希望し待機されている方の中にも、短期入所等の介護サービスにより施設を利用していただく方や、一人で複数の施設に申し込

んでいる方もいるため、実質的な待機者は、数値より少ない状況であると考えられます。次に、介護施設における介護従事者不足に伴う入所者の状況ですが、鹿行地域の福祉施設で施設運営状態等において入所者の定員割れしている施設はありません。また、介護軽度の高齢者を公民館等を活用して地域で支える仕組みについては、介護予防事業として、シルバリーハビリ体操など、公民館等へ出向き実

施できる体制を整えております。 **提言** 鹿行広域事務組合の福祉施設が老朽化しています。鉾田市には学校の跡地がかなりありますので、これら誘致活動にも取り組んでいただきたいと思います。また、区長さん、社会福祉協議会と協力して地域の高齢者を支え合う体制づくりに努めていますので、ご協力をいただきながら、地域のために取り組んでいただきたいと思います。

教育環境の整備について



岸田 一夫 議員

問 教育環境の整備に関して、鉾田市立の鉾田幼稚園とつばさ幼稚園及び小学校の空調設備の現状と今後の対応について伺いたい。

答 【教育部長】鉾田幼稚園の空調設備については、現在調査設計業務を発注するための準備をしております。準備ができ次第、整備工事に向けた調査設計を実施してまいりたいと考えております。整備については、国庫補助を活用して

整備できることとなりましたので、工事費を本定例会の補正予算に計上しております。 **要望** これまでも何回か教育の現場、空調設備関係は要望しておりました。幼稚園に関しては、今年が実施設計、

来年が設置ということですので伺っていました。今回、執行部の職員の皆さんが努力して、本来なら来年のところを、前倒しで今年度整備してくれたいというところで、大変うれしく思っていますが、暑い中、子どもたちも職員も本当に耐えています。本当に一日でも早く設置することを願います。 **提言** 小学校の空調設備については、確かに扇風機等々と申しますけれども、近隣の市町村、多くの自治

体では前向きに整備しています。開校に合わせて整備していくということですが、鉾田南中学校区統合小学校は開校まであと2年、そして大洋中学校区統合小学校も今年度を入れるとあと5年です。いつも言っているとおり、子どもたちの環境において、格差があるのはいかなるものかなと感じておりますので、鉾田の宝であります子どもたちをよい環境のもとで育ててほしいと思います。





ほっとパーク 鉾田、ともえ荘、とつぷさんて 大洋の現状

渡辺 拓哉 議員

問 ほっとパーク鉾田ととつぷさんて大洋は、前年度に比べ6千人ずつ利用者が減っています。その理由と利用者を増やすための工夫についてどうお考えでしょうか。また、ともえ荘が今後継続するのか、縮小の方向なのかについてお聞きします。併せて、設備なども老朽化してくるころだと思いますので、今後の大規模改修の予定を伺います。

答 【健康福祉部長】 ほっとパーク鉾田については、平成19年度の19万6千人をピークに減少傾向となっており、とつぷさんて大洋は平成27年度に15万4千人まで増加していたものの、平成28年度には減少に転じております。明確な原因はつかめていませんが、年間単位の利用者が大きく減少しており、高齢化に伴い利用者数が減少していることも要因のひとつと考えております。ともえ荘は、ここ数年3万人前後で推移しており、減少の要因に高齢者の

団体利用の減少が挙げられます。ともえ荘には、今年度中に地域活動支援センター「スマイルハウス」を移設します。今後は、介護予防活動や福祉の拠点となるよう施設の有効活用を図ってまいります。各施設の設備等の修繕は年次計画をもとに実施していますが、今後の老朽化対策として、大規模改修についても検討していかねばと考えております。

再質問 ともえ荘の温泉施設がなくなるとの話を聞いたのですが、その辺りはどうなのでしょう。また、半原地区の道路についても、震災後からトラクターやバイクで走っていると、がたがたしもうだめだと、地区の意願ですから、ぜひとも早い時期にお願いしたい。

答 【健康福祉部長】 ともえ荘のお風呂は現在使用していますが、今後壊れた場合には、修理せず廃止とする予定で考えております。



道路整備の進捗状況について

二重作 茂兵衛 議員

問 市道12号線の整備について、当初の計画が、相続問題や国土調査における境界未確定箇所がある等の問題により、計画断念となりました。その後新たなルートが選定され、昨年度地元権者などの関係者に対し説明会が開催されましたが、その後の進捗状況を伺います。

答 【建設部長】 市道12号線につきましては、昨年11月に事業説明会を開催し、計画ライオンを提示したところ、地元からの意向が数件あったことから、これらを配慮し計画ラインの修正を行っております。意向のあった関係者等の理解を求めたうえで、稲刈り後に調査測量を実施していくよう

う計画しています。半原地区の道路整備につきましては、現地を再度確認したところ、広範囲で沈下が発生していたため、応急的なすりつけの対応を行い、長期的に現地状況等を見守っていたところですが、現在までに、さらなる変化等が確認されていないことから、修繕に入っていく予定でおります。

再質問 市道12号線は皆さん念願の道路になると思います。稲刈り後、9月に行います。

答 【建設部長】 市道12号線につきましては、稲刈り後、直ちに調査測量に入りたいと考えております。また、半原地区の道路につきましても、修繕工事に向けた準備にすでに入っておりますので、必ず行います。



市立図書館の充実について

水上 美智子 議員

問 市立図書館について、大変わかりやすく丁寧な利用案内が掲載されています。そこで、年別に本の貸し出しの利用状況について伺います。

答 【教育部長】 平成28年度の利用状況は、幼児・児童生徒が5233人で2万9200点。高校生以上の学生が403人で1272点。一般の方が1万9331人で6万5752点です。また、団体への貸し出しが129

件で772点となっております。【再質問】 ホームページに探している資料が図書館にない場合は、県内の図書館から取り寄せができることがあります。また、体が不自由で来館が困難な方へのサービスもあり、利用者に対し工夫していることがわかります。さまざまな工夫をされている中で、利用者数の増減について伺います。あわせて、体の不自由な方の利用状況、各種サービスにつ

いて詳しく教えていただきたい。【答】 【教育部長】 利用者数を平成27年度と28年度と比較すると、学生が84人222点の減、一般の方が814名8267点の減となっております。団体の利用件数は1件増となっておりますが、冊数は194点の減です。次に、障がい者の方に対する取り組みですが、利用登録していただくことで、郵送による貸し出しを行い利便性を図っております。しかし、現在この

制度を利用されている方はおりません。また、利用者増につなげるため今年7月にフェイスブックを開設する予定で、開館35周年記念イベント等も企画し、一人でも多くの方に来館していただき、本を読んでもらいたいと考えているところです。



再生利用、経営体育成基盤整備について

小沼 勝 議員

問 耕作放棄地の解消策は耕作放棄地再生利用の対応が有効ですが、本市の対応について伺います。あわせて、農地中間管理機構事業の進捗状況について、農地集積・耕作放棄地の解消の見通しについて伺います。

答 【産業経済部長】 耕作放棄地対策の状況ですが、耕作放棄地再生利用緊急対策事業として、農業上重要な地域を中心に耕作放棄地の再生、有効

利用を図る目的で、鉾田市農業再生協議会が実施主体となり国庫補助金を受けて実施しているところであります。昨年度は、実施件数が10件、面積にして約4.6ヘクタールの耕作放棄地が解消されており、また、直近では、延べ34件約16.8ヘクタールの耕作放棄地がこの事業によって解消されています。

【再質問】 随分と進んでいるかと思えます。解消するにあたって、県の事業体を活用するばかりでなく、市としての取り組みを伺いたい。【答】 【産業経済部長】 まず耕作放棄地の所有者に対し、事業の周知を図ってまいります。農業委員会の農地パトロールで遊休農地が約102ヘクタールありと聞いていますので、周知徹底を図りながら、解消に向けて推進してまいります。

【要望】 インターネットやホームページ等いろいろな部分で周知していただきたいと思えます。





産業振興施策について

亀山 彰 議員

問 平成27年第4回定例会で、需用費・工事費・物品購入費等は、地元企業を優先的に利用していただきたいとの質問に対し、地場産業育成の観点から、極力市内から調達したいとの答弁がありました。そこで、平成28年度の市内調達額及び割合と、今後どのように調達率を増やしていくのかについて伺います。

答 【総務部長】需用費・工事請負費及び備品購入費にかかる市内調達額及び割合については、一般会計では18億8828万円、特別会計では7億6580万円、特別会計は9%となっており、各会計の合計は26億5408万円で74.5%となっております。平成26年度と比較すると上昇している状況です。市内調達については、予算の執行上、市内業者で賄えないものが発生することが想定され、目標設定は難しいですが、今後も地場産業育成の観点から、市内で調達できるものは極力市内で調達していく考えです。

再質問 調達率が上昇していることに非常に安心しました。入札制度についても、市内業者間で競争が激化しているなかで、他市町また県でも採用している総合評価制度を取り入れ、防災協定を締結し社会貢献している地場の企業をしっかりと守りながら、地元業者が落ち札できるような制度を作るべきと考えますが、市の考えをお聞きます。

答 【総務部長】入札審査会の中で、まず一番目に地元業者でできないかということ念頭に置いて審査をしております。総合評価の導入についても、すでに実施している県の状況を見ながら、入札審査会で検討していきたいと考えているところです。

要望 ぜひ、公平公正な入札と地場産業の育成という両輪を同時に進めていただきたい。非常に難しいこととは思いますが、しっかりと実施していくことをお願いします。



上山・鉾田工業団地への産廃施設(PCB)進出問題について

高野 衛 議員

問 上山・鉾田工業団地へ民間業者によるPCB処理施設進出計画がされています。住民説明会も行われました。市を挙げて農産物のブランドアップに努力し、工業団地第2期開発を進めているなかで、イメージダウンははかり知れません。市としての意見を明確にし、進出反対の宣言を行い、この計画を阻止していかか伺います。

答 【市民部長】本件については、現時点でも県で事業計画概要書が受理されています。この前段であるPCB処理技術の評価手続きもまだされていない、市としては県の事前審査要領に基づき対応していく考えで変わりありません。

再質問 市の区長会でも署名活動を始めています。市にとってもデメリットが多く、一刻も早く計画を断念してもらうことが必要だと思えます。市が反対だという宣言は、事業者が県に正式な申請を出す前に

答 【市民部長】事業者の事前手続きが何らされていない状況で、時期尚早と地元区長にも説明しています。地元説明会は基本、手続きが進んでから行うという手順ですが、この手順を事業者が違った方向で進めているということであり、市の対応としては、あくまでも手続きがされなければ、反対も賛成もできないという立場であることをご理解いただきたいと思えます。

再質問 事業者は、地元が計画書を県に提出しており本気です。これを阻止するためには、相当な運動が必要だと思えます。市としての意思表示、反対宣言を是非して欲しい。



子育て世代包括支援センター設置について

入江 晃 議員

問 今年4月に設置された、子育て世代包括支援センターについて、基本型と母子保健型を一体的に始めたのは県内初の取り組みだと思えますが、支援活動内容の詳細を伺います。

答 【健康福祉部長】母子保健型の事業として、妊娠期から子育て期にわたる母子保健や育児に関する悩みなどに円滑に対応するため、保健師を配置し支援体制を整えています。また、基本型の事業としては、保育士資格を持つ臨時職員を子育てコンシェルジュとして配置し支援を行っております。これらの事業からさらに支援が必要となった場合には、個別支援会議を開催し、関係機関と連携しながら必要な支援を行っております。

再質問 ワンストップ化の相談窓口ができ、子育て世代の市民には安心をいただけたかと思えますが、鉾田市の事業の特徴を伺います。

再質問 44市町村の中で先駆けて2つの基本型と母子保健型を一体的に実施しているところが多いです。多くの市町村が母子保健型として就学前までが支援の中心となっている中、本市では18歳までを対象としておりますので、中学生や高校生本人が悩んだ時にも相談できる状況です。また、母子健康手帳交付や、出生届の際の手続きのワンストップ化、出張子育て相談、出前講座などが特徴となっております。

再質問 比較し事業計画が増えているのかをお聞かせください。



子ども達の遊び場確保とママの居場所の確保について

井川 倫士 議員

問 子育て中のママが集まれる場所やコミュニティの支援策として市が実施している施策は、どのようなものがあるかお聞かせください。

答 【健康福祉部長】子育て中の母親が集まれる場所として、保育園が実施している地域子育て支援センターがあります。市内6カ所に開設され、保育士による子育て相談や情報提供等を行い、また、気軽に親子で楽しめる活動を企画し、子ども親も自然に交流

再質問 子育て中のママの交流の場として、地域子育て支援センター等の活動や保健センター等、小規模ではたくさん実施していると思いますが、その回数や定員が少ないという印象があります。子育て世代包括支援センターができ、事業を集約し予算を効果的に使えるようになるの

再質問 44市町村の中で先駆けて2つの基本型と母子保健型を一体的に実施しているところが多いです。多くの市町村が母子保健型として就学前までが支援の中心となっている中、本市では18歳までを対象としておりますので、中学生や高校生本人が悩んだ時にも相談できる状況です。また、母子健康手帳交付や、出生届の際の手続きのワンストップ化、出張子育て相談、出前講座などが特徴となっております。

要望 事業が増えているという観点から、予算の増額はもちろんです。事業を整理・統合することで1つの事業を効率的に行い、回数を増やす等の工夫をしていただきたいと思えます。



委員会活動報告

総務企画常任委員会行政視察

期日：平成29年4月25日(火)

「上山・鉾田工業団地への産廃施設（PCB処理施設）進出計画に反対する請願」を審査するにあたり、千葉県山武郡横芝光町の産業廃棄物処理施設進出問題にかかる対応を調査するため行政視察を行いました。

横芝光町では、平成23年12月に、町内の業者が千葉県から微量PCB廃棄物を使用した試験研究の承認を受け、平成24年には、業者において住民説明会が実施されました。

これに対し、町・議会・農業委員会などからは反対の意見書が、「PCB持込み断固反対する会」からは、2回にわたり計15、518名の署名簿が県知事に提出されました。

その後も町議会で「微量PCB廃棄物処理施設設置に反対する宣言」が可決され、栗山川沿岸の市町村で構成される栗山川汚染防止対策協議会からも反対する意見書が提出されるなどPCB廃棄物処理施設設置に反対する活動が活発に行われました。

これらの反対を受け、業者は事業実施を諦め、平成26年には施設等も撤去されたとのことです。



原子力施設の安全に関する

調査特別委員会行政視察

期日：平成29年5月17日(水)～18日(木)

福島第一原子力発電所の現状と、原子力災害時における応急対策について調査するため、福島第一原子力発電所及び福島県南相馬原子力災害対策センターを視察しました。

福島第一原子力発電所では現在、事故のあった1号機から4号機は全て冷温停止状態を継続しており、凍土遮水壁設備の運用などの汚染水対策により港湾内外の放射性物質の濃度が低減されたこと、構内敷地のモルタル被覆対策により原子炉建屋等を除く構内敷地の放射線量が低減されたことなどの説明がありました。

次に、南相馬原子力災害対策センターの視察では、旧センターは、原発から約4kmの大熊町にあり、原発事故時には放射線量の上昇などにより機能しなかったため、第一原発から北に約24kmの南相馬市に新センターを設置し、放射線防護対策の強化や通信・電源の多重化等を図ったとの説明を受けました。



原子力施設の安全に関する

調査特別委員会

期日：平成29年6月8日(木)・9日(金)

平成29年6月6日に国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター「燃料研究棟」において、5名の作業員が被ばくする事故が発生しました。

当委員会は、6月8日に委員会を開催し、今後の対応について協議しました。委員会では、このような深刻な事故を起こしたことは、鉾田市民の安全と安心を守る点からも当然看過することはできず、直ちに日本原子力研究開発機構に抗議を含めた要請書を提出することを決定しました。

6月9日に委員会から要請書の提出についての議案を提出し、本会議において、全会一致で可決されました。

本会議終了後、大洗研究開発センターの所長に対し、早急に事故原因の究明を図ること、徹底した再発防止対策を講じること、原子力施設の安全を図るため作業及び施設の総点検をすることなどを求める要請書を提出しました。



要請書

平成29年6月6日に発生した国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター「燃料研究棟」において、5名の作業員が被ばくした事故が発生したことは、農業振興において様々な努力を重ね農業生産額全国第2位となるまで成長してきた本市にとって、1999年のJCO臨界事故や2011年の福島第一原子力発電所事故のときと同様に多大な風評被害を及ぼすことも想定され、誠に遺憾であります。

当市議会としては、過去にも事故が発生し、貴機構に対し事故等の再発防止を繰り返し求めてきたところではありますが、今回このような深刻な事故が発生したことは、鉾田市民の安全と安心を確保するために容認することはできません。

日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターは、早急に事故原因を究明するとともに、一旦全ての業務を停止したうえで全ての作業及び施設の総点検を実施し、原子力施設の安全を確保する責任があると考えます。

以上のことから、強く抗議するとともに、次のとおり要請します。

- 一 早急に事故原因の究明を図り、徹底した再発防止対策を講じること。
- 二 大洗研究開発センターの全ての業務を一旦停止し、たうえて全ての作業及び施設の総点検を実施し、原子力施設の安全を確保すること。
- 三 当市議会に原因究明の結果並びに再発防止対策について報告すること。



総務企画常任委員会請願審査

期日：平成29年3月17日(金)

4月12日(水)
4月25日(火)
5月19日(金)

継続審査となっていた「上山・鉦田工業団地への産廃施設（PCB処理施設）進出計画に反対する請願」について、千葉県山武郡横芝光町への行政視察などを行い審議しました。審議内容及び結果については次のとおりです。

【審議内容及び結果】

3月17日の委員会において、事業者の事業計画が県に受理されていない現時点での県知事に対する意見書提出による効果の有無に関する質疑などがあり、さらに慎重な審査が必要として、本請願は継続審査となりました。

4月12日に県生活環境部廃棄物対策課を訪問し、産業廃棄物処理施設設置許可の手続きについて説明を受けました。

本請願において「すでに、県へは事業計画が昨年9月に提出され、市へも説明がされている。地元の青柳地区にも2月5日に説明会が行われた。」と記され、茨城県で廃棄物処理施設の設置に係る事前審査の手続きが開始された

と解されるような記述がありましたが、実際には必要な書類が整備されていないため、県担当課としては受理しているという認識はなく、事業計画の審査手続きも開始されていないことを確認しました。また、市への説明及び住民説明会についても廃棄物処理施設の設置に係る事前審査の手続きとして認めていることを確認しました。

4月25日には、PCB持込みに反対する住民運動があった千葉県山武郡横芝光町を視察し、町・議会・農業委員会等が行った取組み等について調査しました。

5月19日に委員会を開催し審議を行いました。審議の中で、市では市を挙げて農業のブランドアップに力を注いでおり、生産額全国有数の産地として飛躍している本市にとってPCB処理施設の進出はその努力を損なうものであるといった意見や、市議会の意思表示としてPCB処理施設の進出について反対の決議をし、市に対して進出反対の要請をすることが重要である、PCB処理施設設置の許可権者である県への意見書も早急に提出すべきなどの意見も出されました。

採決の結果、委員会においては全会一致で採択となりました。

総務企画常任委員会請願審査

期日：平成29年6月12日(月)

付託された請願

「若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願」

紹介議員

高野 衛議員

請願の要望内容

- 一、マクロ経済スライドを廃止し、「年金制度改革関連法」の新ルールは実施しないこと
- 二、全額国庫負担による最低保障年金制度を早急に実現すること
- 三、年金支給開始年齢の引き上げを行わないこと
- 四、年金の隔月支給を国際標準の毎月支給にあらためること

審議内容

初めに紹介議員から請願の要望内容について説明がありました。審議において、高齢者が地域で安心・安全に健康で長生きできるための年金制度を請願者が望まれていることは理解できるが、財源見通しが現実的ではないなどの意見があり、採決の結果、委員会において賛成少数で不採択となりました。

請願審査

PCBを処理する産業廃棄物処理施設進出に反対する決議

上山・鉦田工業団地内の旧ビクター工場跡地へ、PCBを処理する産業廃棄物の施設進出が計画されている。事業計画者から地元の青柳地区にも2月5日に説明会が行われた。

PCBはダイオキシンと並んで史上最強の公害物質と言われており、人体に取り込まれると重篤な危険性を及ぼすとされている。昭和40年代に起きた「カネミ油症事件」を記憶されている方も多いと思われる。

説明会では、微量PCBの抜き取り、洗浄が主で区域外への排水は一切ないほか公害の発生はないということだが、将来にわたる私たちの不安を払拭するものでなく、突発的な災害等により、周りの優良農地や工場にまで影響が出る恐れがある。

農業生産額全国第2位の当市にとって、風評被害による損害は甚大であり、さらに、二期開発を進めている工業団地への企業誘致活動にも多大な影響を及ぼすことも想定される。

この豊かな自然を残し、環境を守ることは、私たち現在に生きる者にとって未来永劫の課題でもある。現在、青柳、借宿、須賀、郡境の4地区で住民による反対活動が行われているところである。

鉦田市議会として、PCBを処理する産業廃棄物処理施設の進出計画を認めることはできない。
以上のことから、次の事項について市に要望する。

- 一 市が市内へのPCB処理施設の進出について反対すること。

※同じ内容の意見書を茨城県知事あてにも提出しました。
要請内容は次のとおりです。

鉦田市内におけるPCB処理施設の設置について許可しないよう要請します。

主な議会の動静

5月	
17～18日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会視察研修(福島県)
18日	鹿行政経懇話会
19日	総務企画常任委員会
24日	全国市議会議長会第93回定期総会
25日	市議会議員共済会第114回代議員会議会運営委員会
31日	

6月	
6日～16日	平成29年第2回定例会
6日	議会運営委員会／全員協議会
8日	全員協議会／原子力施設の安全に関する調査特別委員会
9日	議会運営委員会／原子力施設の安全に関する調査特別委員会
12日	総務企画常任委員会

13日	鹿行政経懇話会
13日	厚生文教常任委員会
14日	経済建設常任委員会
16日	議会運営委員会／議会広報編集委員会
26日	全員協議会

7月	
8日～9日	平成29年度議員研修会「第3回全国×ロンサミットin鶴岡」(山形県鶴岡市)
13日～14日	茨城県市議会議長会視察研修(埼玉県川越市)
13日～14日	在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村議会連絡協議会平成29年度総会
21日	議会広報編集委員会
25日	県東市議会議長会定例会



傍聴者の声



錫田ライオンズ
クラブ会長
下重 信一

この度、錫田市議会定例会一般質問を傍聴できる機会をいただき誠にありがとうございます。様々な諸問題（特に交流館建設）に、これまで行政に無関心であった自分を恥じ、自分の住んでいる錫田市にもっと興味を持っていかなければならない事を痛感致しました。錫田ライオンズクラブは、地域社会に密着した奉仕活動を進めてまいります。議会運営に携わっている方々には、今後とも市民視線の立場に立った行政をお願いし、皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

平成29年第3回(9月)定例会日程(予定)

月 日	会 議 内 容
9月7日(木)	本会議 開会
9月11日(月)	一般質問
9月12日(火)	一般質問
9月14日(木)	本会議
9月15日(金)	本会議
9月20日(水)	決算特別委員会
9月21日(木)	決算特別委員会
9月22日(金)	決算特別委員会
9月25日(月)	常任委員会
9月26日(火)	常任委員会
9月27日(水)	常任委員会
9月29日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成29年第2回(6月)定例会の延傍聴者数65名



野友小学校 能楽「大会(だいえ)」鑑賞会

編集後記

この度の委員会の改選により、議会広報編集委員会委員長に就任させていただきました。まだ一期目ではありますが、委員長に就任させていただけたことに大変感謝いたしますとともに、身の引き締まる思いであります。

前回の編集後記を担当した際にもお伝えしましたが、偏った情報発信ではなく、中立の立場で情報発信し、子どもから高齢者まで見やすい広報をめざしてまいります。

平成29年第2回定例会から議会の映像配信が始まりました。ぜひ「錫田市議会」と検索していただき、「議会議中継」から視聴していただけたらと思います。これからも、錫田市議会をよろしくお願います。

(渡辺 拓哉委員長 記)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 渡辺 拓哉 |
| 副委員長 | 小沼 勝 |
| 委員 | 入江 晃 |
| | 郡司 功 |
| | 岸田 一夫 |
| | 井川 倫士 |



自然100%配合の環境に優しい印刷インク